

# 鳥取市長コメント

鳥取市民の皆様へ

鳥取市は、がん・心臓病・脳卒中による死亡率が全体の5割を占め、また、高血圧・糖尿病など生活習慣病の増大が、大きな健康課題となっています。これらの健康課題は、医療費の増大のみならず、介護保険などの社会保障費全体の増大にもつながる重要な問題です。

このような状況の中、鳥取市では、健康づくり計画「とっとり市民元気プラン」に基づき、健診受診率の向上をはじめとした疾病予防の取り組みをすすめているところですが、今後は、市民・行政・関係機関が一体となってさらなる健康づくりに取り組むことが求められています。

そこで、この度、市民の約3割の働き盛り世代加入者を擁する全国健康保険協会(協会けんぽ)鳥取支部と、相互に連携・協力して市民の健康づくりを推進するため、包括協定を締結します。

この連携により、保険者の枠を超え、鳥取市民全体及び地域ごとの健康課題を分析し、より効果的できめ細やかな事業展開が図れることとなります。そして、一人でも多くの皆様に健診を受けていただき、生活習慣病等の重症化予防や健康増進活動に、協働で取り組んでいきます。

今後も、市民の皆様とともに、「元気で楽しく暮らせるまち とっとり」の実現を目指し、家族ぐるみ、職場や地域ぐるみで健康を守る取り組みを推進してまいります。



鳥取市長 深澤 義彦



鳥取市

